

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 17 年 1 月 14 日



会社名 株式会社 プロルート丸光 (JASDAQ・コード番号：8256)  
 (URL <http://www.proroute.co.jp>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 前田 辰夫  
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役 管理本部長  
 氏名 浜家 良一 TEL (06) 6262 - 0303

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- (1) 売上高又は売上に相当する事項の会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 有 ・ (無)
- (2) 記載の業績数値は監査法人による監査を受けておりません。

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 3 月 21 日～平成 16 年 12 月 20 日）

(1) 売上高

	百万円	%
平成 17 年 3 月期 第 3 四半期	27,447	( 2.3 )
平成 16 年 3 月期 第 3 四半期	26,827	( - )
(参考)平成 16 年 3 月期	34,352	( 2.8 )

- (注) 1. パーセント表示は、前年同四半期増減率であります。  
 2. 記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。  
 3. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期につきましては、業績の開示を行っておりませんでした。参考として記載しております。

(2) 売上高に関する補足説明

当第 3 四半期は、売上高 274 億 47 百万円（前年同四半期比 2.3% 増）となりました。

この結果は、中間期までは他社との差別化を図った独自の商品政策・販売政策により流通業界全般の停滞感や減収傾向から距離をおいて増収を確保してまいりましたが、冬物衣料の最盛期となるべき第 3 四半期に入り、12 月に東京で夏日を記録するような異常な暖冬のため、10 月～12 月の 3 ヶ月間の前年同期間比では逆に 2% の減収となって、期間後半には落ち込みを挽回すべく一部梅春物の早期展開も行いましたが、冬物在庫を多く抱える小売店の購買意欲を刺激するまでには至らず、上記の業績にとどまったものであります。

3. 平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 3 月 21 日～平成 17 年 3 月 20 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	34,600	1,000	1,000

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期）54 円 36 銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

平成 16 年 10 月 29 日に発表しております平成 17 年 3 月期の業績見通しは上記のとおりであり、本見通しに変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上